



赤塚公園

Tokyo Metropolitan
Akatsuka Park



噴水池



バーベキュー広場





赤塚公園

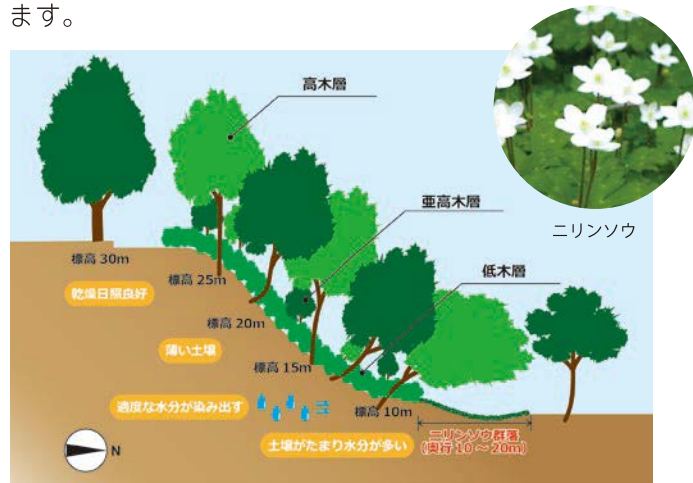
Tokyo Metropolitan
Akatsuka Park

公園について

ニリンソウの自生地

赤塚公園には都内最大のニリンソウの自生地があります。大門地区では、武蔵野台地の崖線に沿って奥行き10~20メートルの幅で、東西に200メートルもつづく群落があります。

板橋区を横切る武蔵野台地の崖線は北向きの斜面になっており、夏は雑木林の木々の葉が生い茂ってうっそうと暗く、適度な湿り気があるのに対して、晩秋から春先にかけては落葉して地表に日の光が差し込む環境になっています。このような環境で、大門地区のニリンソウは幾世代にもわたって生きつづけてきました。大門地区の崖線にはニリンソウをはじめ、都内では大変稀少になった武蔵野の植物が数多く自生しています。



ニリンソウが自生する環境

赤塚公園と歴史

● 高島平 (徳丸ヶ原)

赤塚公園一帯は、荒川流域から広がる徳丸たんぼ、赤塚たんぼと呼ばれる肥沃な地で、徳川幕府の鷹狩場もありました。

江戸時代末期、江戸幕府の長い鎖国政策を揺るがしたのは、産業革命を経て近代工業化が進み、アジアへ植民地を求め、来航する欧米諸国の軍事力でした。高島平の地名の因みとなった高島秋帆^{しゅうはん}は、文化11年(1814)長崎町年寄見習出島備場受持となり、出島にてオランダ人より砲術を習い、高島流砲術を完成させました。天保11年(1840)「天保上書」により、洋式砲術の急を江戸幕府に説き、翌天保12年(1841)、徳丸原(現高島平)にて日本で最初の洋式砲術の実弾射撃と歩騎兵による公開演習を行い、洋式軍事技術の威力を見せつけ、一躍名声を上げました。その時の本陣となった松月院や赤塚公園に隣接している板橋区立郷土資料館では、秋帆由来品の常設展示をしています。

● 赤塚城址

大門地区から歩道橋を渡ると、そこが城址地区で、小高い丘の上に赤塚城の本丸跡があります。現在は梅林となっています。室町中期の康正2年(1456)に、太田道灌の力を借りてこの地を平定した千葉自胤^{これたね}は赤塚城主として活躍しました。



競技場

野球場

公園基本情報

開園年月日	昭和49年(1974)6月1日
開園面積	255,480.40㎡
所在地	板橋区高島平三丁目、徳丸七・八丁目、四葉二丁目、大門、赤塚四・五・八丁目
交通	都営地下鉄三田線「高島平」下車徒歩8分、②東武東上線「下赤塚」から国際興業バス(高島平操車場行)「高島平警察署」下車徒歩3分、③同「東武練馬」から国際興業バス(浮間舟渡行・高島平行)「高島平警察署」下車徒歩3分、④同「成増」から国際興業バス(高島平操車場行)「赤塚公園」下車徒歩1分 駐車場(有料24時間)
主な施設	野球場、テニスコート、競技場、バーベキュー広場、噴水池(じゃぶじゃぶ池)など
Twitter	@ParksAkatsuka

問合せ

赤塚公園サービスセンター(当公園に関するお問合せ)

☎ 03-3938-5715 〒175-0082 板橋区高島平3-1 (8:30~17:30 ※年末年始は除く)

東京都公園協会 本社(協会の事業全般に関するお問合せ)

☎ 03-3232-3011

(8:30~17:30 ※土日祝日、年末年始は除く)